

ざいだん

NEWS Vol.4

公益財団法人 熊本県移植医療推進財団

代表理事 福田 稔

熊本県熊本市中央区
水前寺6丁目18番1号
熊本県業務衛生課内
<https://kumaisui.jp/>



「あなたにもできます。愛の贈り物」

公益財団法人熊本県移植医療推進財団は、移植医療の普及推進事業を行い、視覚障害者及び臓器不全患者の機能回復に資するとともに、目と臓器に関する健康衛生の知識の普及啓発を図り、もって県民の健康及び福祉の向上に寄与することを目的として活動しております。



「移植医療の現状について思うこと」

公益財団法人熊本県移植医療推進財団 理事
同財団 移植推進委員会委員長
熊本労災病院 名誉院長

猪股 裕紀洋

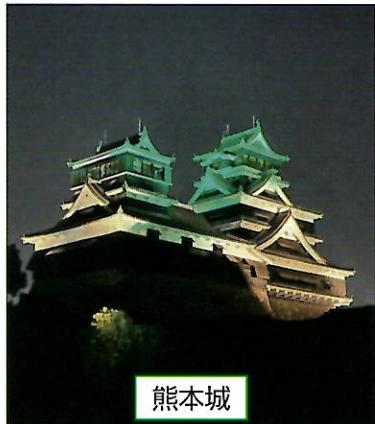
移植医療と言うと、なお、縁遠い医療と思われる方も多いと存じます。しかし、県内では、腎移植肝移植が安定して行われており、一方で臓器提供数も増えています。2010年の臓器移植法改正により、国内での脳死下臓器提供は漸増し、コロナ禍をはさんで2023年以降は年間140例程度と、ひとつのハードルであった年間100例を優に超えています。県内でも、2015年の初例以降、国立熊本医療センター、赤十字病院、大学病院、済生会病院などで脳死下臓器提供が合計で年間数例ずつ安定して行われています。多くのみなさんのご協力・ご尽力によるもので、脳死下臓器提供に対する県民・国民の意識改革は確実に進んでいます。一方で、どの病院でも可能な心停止下での提供は国内全体で年間10例程度にとどまり、脳死と心停止下提供合計数は、以前に比して若干の増加にとどまります。さらにハードルが低いはずの、亡くなられた後の角膜の提供についても、熊本県では年間10例程度です。臓器提供イコール脳死下臓器提供、という認識の広がりが一因かもしれません。引き続き、財団では、脳死下臓器提供に関わる医療施設などの関係者で緊密な意見交換をしつつ、心停止下臓器提供、死後の角膜提供についてもその推進策を検討する輪を広げていく必要があると感じています。

臓器移植普及推進月間(10月)の取組み

グリーンライトアッププロジェクト

臓器移植法が施行された10月16日(グリーンリボンデー)を中心に、県内の様々な施設をシンボルカラーである“グリーン”にライトアップするイベントを実施しました。医療機関、商業施設、飲食業、教育関係施設等 28 施設にご協力いただきました。(参加施設数は、令和3年度以降 4年連続全国1位となりました)

【敬称略、順不同】



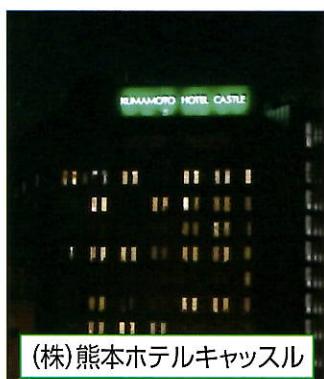
熊本城



SAKURAMACHI Kumamoto



(株) JR 熊本シティ
アミュプラザくまもと



(株)熊本ホテルキャッスル



平田機工株式会社 本社



熊本県医師会



熊本大学病院



肥後銀行 本店ビル



済生会熊本病院



熊本赤十字病院



味千ラーメン
本店



味千ラーメン
東バイパス店



味千ラーメン
富合店



味千ラーメン
光の森店

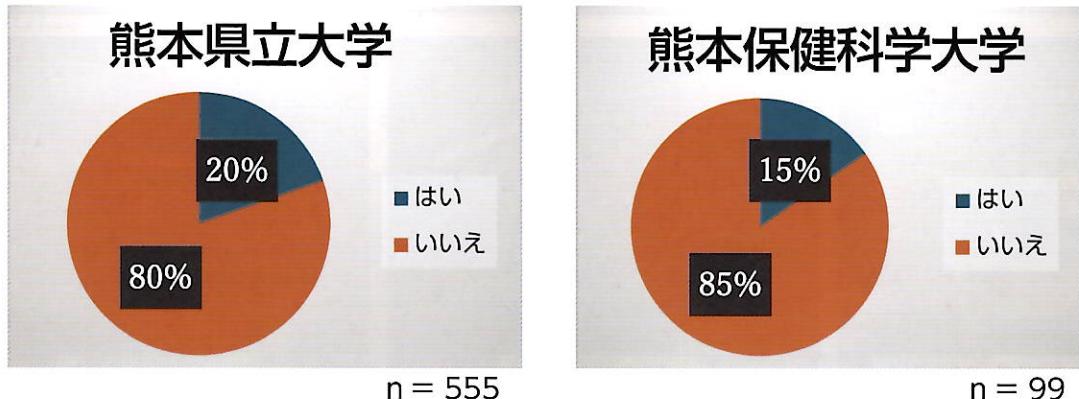


グリーンリボンキャンペーン

10月の「臓器移植普及推進月間」にあわせて、県内医療機関、大学及び県庁において、移植医療の普及及び臓器提供意思表示に関する啓発活動を実施しました。

また、下の円グラフは熊本県立大学と熊本保健科学大学のイベント時に行った臓器提供意思表示についてのアンケート結果です。

【臓器提供意思表示していますか？】



意思表示をしていない理由として、「自分の意思が定まらない」、「臓器提供に不安感・抵抗感がある」といった意見も多くありました。

【グリーンリボンキャンペーン御協力施設】

(五十音順、敬称略)



「グリーンリボンキャンペーンの
天使 ハーティファミリー」

移植医療市民公開講座 2024

令和6年度は「臓器移植、その時家族は」をテーマに、熊本医療センター救命救急科部長櫻井聖大先生と臓器移植コーディネーターより臓器提供に関する承諾から移植までの流れを御講演いただき、熊本県立大学環境共生学部4年生による「地域における臓器提供意思表示率向上に向けた普及啓発活動」についての研究発表、また、ドナーファミリーより「できるかぎり命を守り、命を繋いでいくために」というテーマで講話もあり、とても貴重なお話を伺うことができました。



移植医療市民公開講座2024
「臓器移植、その時家族は」

2024.10.5.土
13:30開場／14:00開演／16:30終了
熊本県医師会館2F大ホール
チケット料金：熊本市民券・花園券／1,300円
チケット購入：熊本県医師会館・花園駅前店
定員200名
事前申込必要
チケット料金：1,300円
チケット購入：熊本県医師会館・花園駅前店
15分間休憩

主催／日本臓器移植ネットワーク実践委員会
共催／熊本県、熊本県医師会
日本臓器移植登録センター、JOTC、日本臓器移植登録センター、JOTC
日本教育移植普及会、日本ライオンズクラブ、県教育委員会
委嘱／公益社団法人日本医師会、日本医師会、日本医師会、日本医師会、日本医師会
熊本県医師会館2F大ホール

院内コーディネーター依頼状交付式

平成14年度（2002年度）以降、臓器提供が発生した場合に主治医や担当スタッフ及び県臓器移植コーディネーターと連携を図りながら、院内全体の調整を行う「臓器移植院内コーディネーター」を設置し、各病院内における普及啓発のほか、患者やその家族から臓器提供の申出があった場合の窓口となる人材の育成を図っています。令和7年1月25日に県内28医療機関の114名に依頼状とくまモンバッチの交付が行われました。



スリットランプ贈呈式



長年にわたり県内のアイバンク業務に御尽力いただきました熊本ライオンズクラブの熊本眼科前院長の武藤興紀先生より献眼時に使用するポータブルスリットランプを寄贈していただきました。令和6年10月に贈呈式がありましたが、この日は武藤先生ご本人の出席が叶いませんでしたので、熊本ライオンズクラブの岡会長を通して武藤興紀先生に感謝状をお渡ししております。



出前講座の実施

学校、団体等に県臓器移植コーディネーターや移植医等を講師として派遣し、移植医療についての講義を実施しています。令和6年度は、6月27日に天草市稜南中学校1年生、12月13日に熊本市京陵中学校3年生に出前講座を行いました。講義後、「臓器移植に関する権利（提供したい、提供したくない、受けたい、受けたくない）を知ることができた」「移植医療と救急医療の関連がわかった」などの感想や、iPS細胞についての質問もあり、移植医療への関心が高まっていることを感じることができました。

また、県民の皆様に移植医療に対する普及啓発を進めるため、中学校以外でも出前講座を実施しています。出前講座のご依頼については当財団事務局までお問い合わせください。



天草市稜南中学校



熊本市京陵中学校

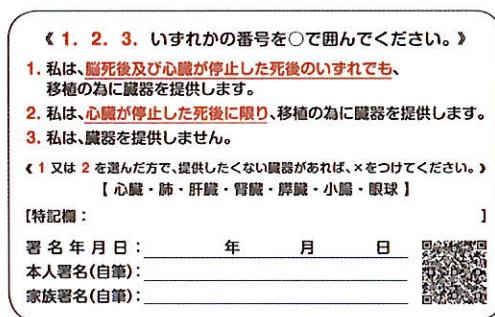
臓器提供意思表示カード

臓器移植について考えたことはありますか？自分の死後のことを自らの意思で決めるために、また家族が本人の意思を尊重しながら決断することができるよう、生前からその意思を示しておくことが大切です。意思表示は運転免許証、マイナンバーカードや臓器提供意思表示カード等で出来、その意思表示は何度でも変更が可能です。

当財団では、オリジナル臓器提供意思表示カードを作成しています。カードについては当財団事務局までお問い合わせください。



カード・おもて



カード・うら

寄付・賛助会員へのご協力のお願い

当財団では、賛助会員を募集しております。移植医療でしか救うことができない命があります。移植医療を深く理解していただくため、皆様から集められた会費は、移植医療の啓発活動等に活用しています。一人でも多くの移植を待っている方へ「思い」が届けられますよう、温かいご支援をお願いします。寄付も随時受付けておりますので、ご協力ををお願いします。

※なお、令和7年4月23日以降に当法人にいただいた賛助会費・寄付金は、一定の割合で税額控除の対象となります。

賛助会員 法人会員 一口 10,000円/年 個人会員 一口 3,000円/年

※いずれも口数に制限はありません。

振込先 銀行名：ゆうちょ銀行 口座名：公益財団法人 熊本県移植医療推進財団
口座記号：01740-1 口座番号：145335

令和6年度寄付・賛助会員のご芳名(敬称略)

寄付 (敬称略)

一般財団法人化学及血清療法研究所	2,000,000円	社会福祉法人 むべの里	312,092円
熊本県腎移植者の会	500,000円	独立行政法人地域医療機能機構 熊本総合病院	70,451円
KMバイオロジクス株式会社	500,000円	リバテープ株式会社	31,147円
熊本県ライオンズクラブ献眼・献腎・献血運動協力会	400,000円		

法人会員 (口数・五十音順・敬称略)

熊本県腎臓病患者連絡協議会	10□	公益社団法人 熊本県薬剤師会	1□
医療法人レチナ いでた平成眼科クリニック	5□	一般社団法人 熊本市医師会	1□
熊本赤十字病院	5□	一般社団法人 熊本市薬剤師会	1□
社会医療法人愛育会 福田病院	5□	独立行政法人地域医療機能推進機構熊本総合病院	1□
株式会社 大塚食品	4□	熊本大学大学院生命科学研究部 眼科学講座	1□
株式会社 九建総合開発(九建グループ)	3□	熊本大学病院 泌尿器科	1□
株式会社 九建(九建グループ)	2□	独立行政法人労働者健康安全機構熊本労災病院	1□
株式会社 九建運送(九建グループ)	2□	グリーンランドリゾート株式会社	1□
株式会社 未来樹(九建グループ)	2□	株式会社 KKT イノベート	1□
株式会社 ナチュール(九建グループ)	1□	医療法人ウェルビーイング健軍熊本泌尿器科	1□
医療法人宏保会 武藤眼科・大久保内科	2□	医療法人武藤会 甲佐眼科クリニック	1□
医療法人社団坂梨会 阿蘇温泉病院	1□	税理士法人 さくら熊本パートナーズ	1□
伊藤歯科医院	1□	医療法人幸翔会 濑戸病院	1□
有限会社 インターフェイス	1□	株式会社 TKU ヒューマン	1□
大津なかしま眼科	1□	株式会社 D・B Style.	1□
医療法人 眼科 古嶋医院	1□	合資会社 中島石油	1□
医療法人くだか眼科 くだか眼科	1□	医療法人社団永芳会 永芳医院	1□
医療法人社団 サクシード くまがい眼科	1□	株式会社 ハートフェルト	1□
国立病院機構 熊本医療センター	1□	独立行政法人地域医療機能推進機構人吉医療センター	1□
公益社団法人 熊本県医師会	1□	(宗) 法光寺	1□
公益社団法人 熊本県看護協会	1□	医療法人宮下会 益城中央病院	1□
一般社団法人 熊本県歯科医師会	1□	有限会社 大和ゴルフ熊本	1□
熊本県製薬協会	1□	社会福祉法人 リデルライトホーム	1□

個人会員 (口数・五十音順・敬称略)

豊留 裕司	5□	高濱 由利子	2□	越山 靖夫	1□	早川 美彦	1□
岡本 哲夫	3□	宮部 陽永・美沙	2□	榎田 裕士	1□	富士登 謙司	1□
桑原 謙	3□	山永 成美・美音	2□	高田 啓世	1□	古瀬 昭夫	1□
一二三 倫郎	3□	荒金 太	1□	田中 恵津子	1□	堀野 敬	1□
平田 稔彦	3□	稻葉 一郎	1□	津志田 純一	1□	松尾 剛典	1□
稻葉 志郎	2□	奥 恵子	1□	角田 隆輔	1□	宮川 貞雄	1□
大川 正晃	2□	上則 尚子	1□	富永 智子	1□	村口 和彦	1□
大津 敬一朗	2□	川端 知晶	1□	豊田 真理子	1□	吉田 清美	1□
小野 美子	2□	草野 雄貴	1□	西野 生子	1□	渡辺 光夫	1□
窪田 吉晴	2□	久保 陽介	1□	西村 真理子	1□	他 10 個人	12□
熊野 清徳	2□	興梠 美智子	1□	長谷川 秀	1□		

支援型自動販売機設置のお願い

賛助会費、直接寄付以外にも間接的に臓器移植をご支援いただく方法として、支援型自動販売機があります。現在、県内では独立行政法人地域医療機能推進機構熊本総合病院様、社会福祉法人むべの里様、リバテープ製薬株式会社様に設置されており、購入された飲み物代金の一部を毎月当財団に寄付いただいております。今年度、新たに熊本赤十字病院様に支援型自動販売機をコカ・コーラボトラーズジャパン株式会社様の御協力のもと設置いただき、令和7年7月1日より稼働しております。

この支援型自動販売機の設置事業にご賛同いただける場合は当財団事務局まで是非お問い合わせください。



社会福祉法人むべの里 様



熊本赤十字病院 様



自動販売機に広告を入れて
いただいております。

編集後記

熊本県内で現在腎臓移植を待つ方は、約220名いらっしゃいますが、令和6年度に亡くなられた方から腎臓の提供を受け、移植された方は熊本県内では1名でした。また、熊本県内で角膜移植を待つ方は約90名ですが、令和6年度の献眼数は11件で20名の方に新たな光を届けることができましたが、それぞれ移植を希望される全ての方々の望みに応えることができていません。臓器提供については認知度が高まっている一方で、意思表示している方は少ない傾向にあります。猪股理事の冒頭あいさつのとおり、当財団はこれからも普及啓発に力を入れ、脳死下臓器提供に関わる医療施設との緊密な意見交換を行い、心停止下臓器提供や角膜提供についても、適切な移植医療が推進されるよう努めてまいります。

●財団問い合わせ先

《献眼(角膜提供)に関すること》 アイバンクコーディネーター ☎ 080-8373-3346

《臓器提供に関すること》 熊本県臓器移植医療コーディネーター ☎ 080-2759-9467

《問い合わせ先(平日 8:30 ~ 17:15)》

公益財団法人 熊本県移植医療推進財団 ☎ 096-234-8670

〒862-8570 熊本県熊本市中央区水前寺6丁目18番1号 熊本県薬務衛生課内